

<本件に関するお問い合わせ先>

日本銀行札幌支店 営業課（電話011-241-5232）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/sapporo/>

<当店ホームページ>



2020年4月22日

日本銀行札幌支店

金融経済概況

【全体感】

北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の拡大などの影響により、下押し圧力の強い状態にある。

すなわち、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、観光は急速に悪化し、個人消費は弱い動きとなっているほか、輸出・生産にも下押し圧力がみられている。また、住宅投資は弱めの動きとなっている。こうしたもとで、企業の収益・マインド面に弱さがみられているものの、設備投資は、中長期的な視点での投資案件を中心として、緩やかに増加している。公共投資は増加している。

雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は回復しているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。

【各論】

1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、地震後の災害復旧工事の発注などから、増加している。また、既発注分を含めた公共工事も、増加している。

輸出は、基調としては横ばい圏内の動きとなっているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。

主要品目別にみると、鉄鋼では、持ち直しの動きがみられる。輸送用機器では、減少している。食料品では、基調としては横ばい圏内の動きとなっているものの、需要減少などの影響による下押し圧力がみられている。

設備投資は、緩やかに増加している。

3月短観（北海道地区）における2019年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。2020年度の設備投資は、概ね前年並みの計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により弱い動きとなっている。

スーパー、ドラッグストアでは、衛生用品に特需がみられるほか、外出の自粛に伴い、日用品や食料品の需要増がみられている。他方、サービス消費、百貨店、乗用車販売、家電販売では、外出を自粛する動きにより、来客数が落ち込んでおり、減少し

ている。

観光は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、急速に悪化している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数をみると、貸家は減少している。持家は横ばい圏内の動きとなっている。分譲は高めの水準で推移している。

2. 生産

生産（鉱工業生産）は、弱めの動きとなっており、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響もみられている。

主要業種別にみると、食料品では、持ち直している。金属製品、窯業・土石では、横ばい圏内の動きとなっている。紙・パルプでは、減少傾向にある。輸送機械、電気機械などでは、国内外での需要減少などの影響により、減産の動きがみられている。

3. 雇用・所得動向

雇用・所得情勢をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は回復しているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響がみられている。

4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

5. 企業倒産

企業倒産は、低水準で推移している。

6. 金融情勢

預金残高は、個人預金、法人預金ともに増加している。

貸出残高は、法人向けでは設備資金を中心に幅広い業種で増加しているほか、個人向けでも増加している。

貸出金利は、既往ボトムの水準で推移している。

以 上